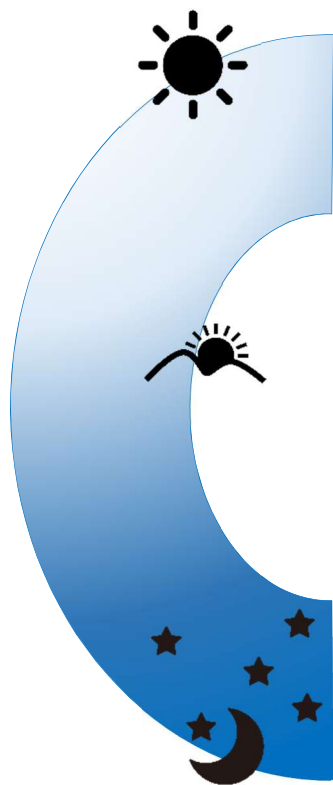


(三鷹のこれからの教育を考える研究会最終報告における提言内容)

- 地域の共有地（コモンズ）としての学校を目指し、**学校施設の機能転換**により、
 - ① **学校教育の場**（第1部）
 - ② 学校部活動を含む**放課後の場**（第2部）
 - ③ 社会教育・生涯学習、生涯スポーツ、地域活動など多様な**活動の場**（第3部）の「学校3部制」に向けて取り組む。



第1部 学校教育の場

第2部 放課後の場

- コミュニティと連携した学校部活動改革の推進
- 学童保育所、地域子どもクラブ、地域未来塾の連携・一体化



子どもたちが価値ある活動や体験ができる
多様で豊かな「新しい放課後」の創造
(居場所を超えた価値ある遊び場・学び場)

第3部 多様な活動の場

- 多様な主体が、多様な活動に、気軽に、身近な場所として活用
- 学校施設の様々な設備や機材を地域に開放

スクール・コミュニティ*をはじめとする
多様な三鷹のコミュニティとの
連携の中で推進

*学校や子どもたちを「縁」とした
「つながり」

➡ モデル事業などによる実証を進めるとともに、必要な制度的対応について検討